

新緑が目眩しい5月20日（土）、大阪市において、関西慶應寮和会第11回定例懇談会が、東京から参加の久枝OBや名古屋から初参加の石塚OBを始めとして22名の出席者のもと開催されました。

<参加者> 敬称略 (22名：部分参加も含む)

久枝 壯一 (S40法)	増田 登 (S40商)	相本 琢郎 (S41法)
酒井 克己 (S42法)	松尾 哲雄 (S47経)	三角 竜二 (S49工)
青嶋 義晴 (S52工)	西村 元秀 (S53商)	袖岡 稔 (S55商)
阪本 光宏 (S61商)	小堀 誠 (S63商)	竹崎 誉 (H02法)
井内 達彦 (H04商)	小早川 直也 (H10商)	早川 亮典 (H10理)
兵藤 公治 (H10理)	脇田 圭吾 (H12総)	宮崎 博 (H16経)
三浦 司 (H24理)	石塚 琳太郎 (H25商)	横山 尚明 (H25理)
松永 修 (S58工)		

I 水の都大阪を巡る

<テーマ：大阪は如何にして水の都になりえたか？>

【第1部】「大阪くらしの今昔館」見学 17名 12:40～13:50

先ず訪れたのが、天神橋筋六丁目にある「大阪くらしの今昔館」です。ここは、江戸時代から明治・大正・昭和の大阪の町と住まいの移り変わりが体験できる住まいのミュージアムで、江戸時代後期天保（1830～1844）のころの「大坂」を館内で復元してあります。（写真1）

その家々の内部を、案内係の方の説明を聞きながら巡りました。

先ず玄関ですが、戸締りが素早く確実に出来る工夫がされています。家の中に入ると、おくどさんと呼ばれるかまど等もあり古き良き時代がしのばれました。

記者は京都で育ったので京町屋はよく知っていますが、大阪町屋は比較的幅が広く京町屋のように鰻の寝床にはなっておらず、また、造りが戸締りにも見られるように合理的であると感じました。両者の比較をしてみるのも面白いと思いました。

また、特別展「大阪の台所はここから始まる」では、各藩の蔵屋敷と運送網を中心に展示があり興味深く見る事が出来ました。



写真1. 復元された大坂の街並みを見る



写真2. 造幣局博物館正門にて

【第2部】「造幣博物館」見学

17名 14:30～15:20

次に訪れたのが天満にある造幣局の「造幣博物館」です。この建物は、旧造幣局火力発電所の施設を再生したもので、館内には大判・小判等の日本の貨幣や外国の貨幣、及び貨幣の製造工程が判る資料の展示が有り、興味深く見る事が出来ました。

その中でも、記者の職業柄「生産技術」の観点から関心があったのが、複雑な模様の大きなコインの原型から何分の一に縮小してプレス型を削っていた倣い旋盤です。（現在は他の工法）普段はあたりまえに使っている貨幣ですが、同一貨幣を大量に造る造幣技術の素晴らしさを再認識しました。

また、大判でも金の比率やサイズが江戸時代の時期によって違ったとのこと。貨幣はまさに時代の財政状況を映し出す鏡だなと感じました。

造幣博物館の正門前で、全員で写真に収まった後に（写真2）水上バスの乗船口に向かいました。



水上バス航路マップ

【第3部】水上バス中之島巡り

17名 15:40～16:40

今回の定例懇談会のメインイベントである水上バス中之島巡りでは、大阪城や中之島周辺を約60分間船内から巡ることが出来ました。

（コースは右図の赤線部）

旧日本軍の弾薬庫や大阪市中央公会堂などの建造物を普段川岸側から見るのとはまた違った角度で、心地よい船の揺れの中、見る事が出来、皆さん大変楽しそうでした。（一部では早くもビールを飲む人も……記者もですが）

まさに大阪は「水の都」であることを感じた船中でした。

下船後（写真3）、天神橋筋商店街にある懇親会場に徒歩で向かいました。



写真3. 水上バス下船時にパチリ

【第4部】懇親会 ワイン革命 八百屋魚屋 22名 17:00～19:00

懇親会から参加した5名とも店内で合流し、恒例の西村OBの司会で懇親会を開始しました。（写真4）

水上バスの乗り心地の良さを、そのまま宴席に持って来たのか、今回の懇親会も大変盛り上がりしました。

宴の中盤で、今回初参加の石塚OBや晴れて弁護士事務所を開業された脇田OBからご挨拶がありました。

最後に三角副会長から、幹事へのねぎらいのご挨拶があり、女性店員さんも共に肩を組んで、全員で若き血を熱唱。

名残惜しくお開きとなり（写真5）、天神橋筋へ二次会に繰り出しました。

II OFF-TIME

今回インタビューをしたのは、今年から幹事をしてもらっている横山OBです・横山OBは、平成25年卒（理工）、電機会社の若きエンジニアです。

横山さんは、体を動かすのが好きで、筋トレ、ランニング、スノーボードにハマっているとのこと。

大学1年のとき、寮生で行ったスノーボード旅行。最初は全く滑れず楽しさを見出せなかったそうですが、何回か行っているうちにすっかりハマってしまい、1年目の冬のボーナスでボード一式を購入。今シーズンは、名古屋、岐阜、にいる同期（石塚OB、浜崎OB）と行った旅行も含めて、全部で7回ぐらい行ったそうです。（写真6）

今度は、夏用の何か新しい趣味を探していますと結ばれました。



写真4．松尾会長からご挨拶



写真5．宴の終わりに全員集合

Ⅲ 編集後記

今回の懇談会で、テーマにしていた「大阪は如何にして水の都になりえたか」について、考えることが出来ました。

最初に見学した「大阪くらしの今昔館」では、大阪の発展は当時としては革新的に整備された水路網なしには考えられないと再認識しました。

また、水上バス中之島巡りは、今までに伏見十石舟（第5回）、ミナミどうとんぼりリバークルーズ（第7回）に次ぎ3回目の船遊覧でしたが、1時間に及ぶ遊覧は初めてで、普段見る大阪の街とは、また違った眼で「水の都」を堪能することが出来ました。

次回の第12回定例懇談会は下記の計画で考えていますので、皆様誘い合ってのご参加をお待ちしています。お会いすることを楽しみにしています。

- ・日時：11月11日（土）または18日（土）
- ・企画：「サントリー山崎」をメインに検討。もし実現が難しければ、「堺地域の散策」、または、「西宮酒蔵巡り」を代替案とする

以上

【記者雑感】

今年のゴールデンウィークは皆様はどこに出かけられたでしょうか。私は、妻の実家に帰省がてら久しぶりに、仙台：松島（写真7）に行って、焼き牡蠣を腹一杯食べてきました。（美味しかった！）

6年前の東日本大震災では、松島も甚大な被害があったと聞きます。今は多くの観光客が訪れており、地元の方のご努力の賜物だと思います。私に出来ることと言えば、観光で訪れることぐらいしかできないのですが、機会を見つけてまた行きたいと思います。



写真6.同期で行った2017年スノボ旅行（岐阜）
＜左：横山OB、右：石塚OB＞



写真7. 松島：船着き場を臨む